

再建中の「今」ならではの 首里城を間近でご覧ください。

2019年10月31日の火災で、正殿を含む9つの施設が焼損しました。

現在は、国内外の多くの皆さまからのご支援をいただき、

「見せる復興」をテーマに一步步つ着実に復興への歩みを進めています。

復元工事は正殿から着手しており、正殿の建っていた御庭には、

木材を加工する「木材倉庫」、原寸大の図面をかく「原寸場」、

建築中の正殿を雨風や埃から守る「素屋根」が建てられ、

併設された見学エリアからガラス越しに復元工事の様子をご覧ください。

※原則、土日は復元工事の作業はお休みです。

- 案内所
- 救護室
- 駐輪場
- 飲食店
- トイレ
- AED (自動体外式除細動器)
- エスカレーター
- 売店
- 授乳室
- 貸出センター (車イス・杖・ベビーカー)
- エレベーター
- コインロッカー
- おむつ交換台
- 駐車場
- 喫煙所

無料区域 有料区域



すいむいかん
首里杜館

レストラン首里杜
カフェ龍樋

ショップ紅型B1
ショップ紅型

1 守礼門(しゅれいもん)

扁額の「守禮之邦」は「琉球は礼節を重んずる国である」という意味。沖縄戦で破壊され、1958年に復元されました。

2 園比屋武御嶽石門(そのひやうたきいしもん)

世界遺産

国王が外出する時の安全をこの石門の前で祈願しました。沖縄戦で一部破壊され、1957年に復元。2000年12月に世界遺産に登録されました。

3 龍樋(りゅうひ)

龍の口から水が湧き出ていることが名の由来。瑞泉門の手前にあり、王宮や賓客の大切な飲料水でした。

4 広福門(こうふくもん)

券売所

扁額の「広福」とは福を行き渡らすという意味。東側は戸籍を管理する「大与座」、西側は寺や神社を管理する「寺社座」がありました。

5 奉神門(ほうしんもん)

改札所

3つの入口のうち、中央の門は国王など限られた身分の高い人だけが通れました。開門を告げる朝の儀式「御開門」を見ることが出来ます。

6 原寸場見学エリア

首里城正殿の建築に使われる実物大の図面を描く場所です。ガラス越しに作業の様子をご覧ください。

7 素屋根(すやね)見学エリア

この中で首里城正殿の復元工事を行っています。3階建てで、各階に設けた見学エリアから間近で作業の様子をご覧ください。

8 首里城復興展示室

獅子瓦など火災後の残存物の展示や、首里城復興へのあゆみを映像で紹介しています。展示内容は工事の進捗にあわせて変わります。

9 世誇殿(よほこりでん)

国王が亡くなると、次期国王の即位の礼が行われた場所。現在は大型モニターで琉球王国の歴史と首里城正殿遺構の魅力などを紹介しています。

10 東(あがり)のアザナ

城郭の東側に築かれた物見台で、首里城公園一帯や那覇の街並みを一望できます。東は日が昇る場所のため方言で「アガリ」と言います。